

新型コロナウイルス感染症調整本部医療部会（第5回）会議録概要

1 日時

令和2年6月3日（水） 18:30～20:30

2 場所

県庁 6階 大会議室

3 出席者

14名

4 主な意見等

(1) 重症度分類の見直し（案）について

- ・軽症に分類（酸素飽和度が96%以上）でも、肺炎所見がある患者の重症化事例の報告あり。そのような方は「中等症」に分類し、対応する方が良い。

→酸素飽和度を括弧書きにしたのは、あくまでも目安。酸素飽和度96%以上でも肺炎所見があれば、重く診るのが妥当。

(2) 消防への帰国者・接触者外来に関する情報提供について

- ・どこに連絡しても断られる。消防への情報提供により、速やかな搬送が可能となり、患者と家族の負担軽減につながる。

(3) 「高齢者施設班」等の設置について

- ・高齢者施設と障害者（児）施設に係る対応を議論する班（「介護・福祉施設班」）を早急に設置すること。

(4) 搬送医療機関の優先順位付けについて

- ・フェーズ3にならないと「私的」医療機関が出てこないように見える。フェーズ2の時点で「公的」医療機関だけで対応が可能か懸念。フェーズ2で「私的」医療機関にも受け入れてほしい。

→近々統括DMATチームを開き、議論する予定。

(5) 救急患者の優先搬送先の検討について

- ・「新型コロナウイルス感染症が疑われる症状を有している救急患者」とは、どのような患者を想定しているのか。

→「設定済み」となっている他県で、どのような患者を想定されているか確認する。

(6) コンタクトリストを作成するに当たっての作業について

- ・奄美の場合、重症者の搬送について課題あり。具体的なシミュレーションが必要。